

# 当センター規格金物に新しい座金を規格化！

(財)日本住宅・木材技術センター

当センターは、木造建築物用接合金物規格に「角座金W6.0×60×φ14」と「丸座金RW6.0×68×φ14」の接合金物を新たに追加しました。

この座金の主な用途は、引張りを受けるボルトM12用の座金として使用するものです。これまで、柱脚金物及びアンカーボルトの引張力を土台等に定着させる部分に用いる座金は、柱脚接合部の短期許容引張耐力に応じて同等以上の面積の座金が必要ですがこれらの用途に十分に答えきれていないのが現状でした。

この座金を使用することによって、下表の耐力以下の柱脚金物などの接合金物に使用することができます。

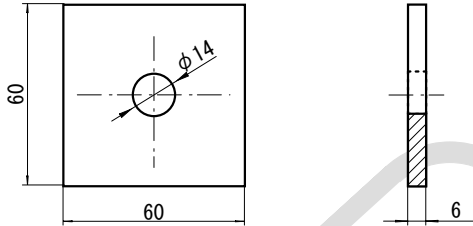
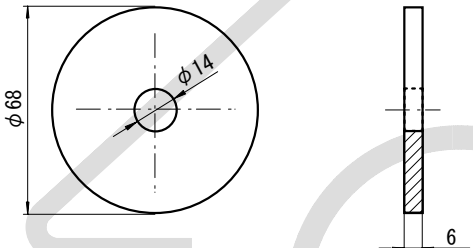
これらの座金が生産・供給される時期は、平成22年4月1日以降となります。

## 1) 角座金W6.0×60について

下図のとおり、厚み6mmで大きさが60mm×60mmの座金にボルトM12を通す14mmの孔が空いています。

## 2) 丸座金RW6.0×68について

下図のとおり、厚み6mmで大きさが直径68mmの丸座金です。角座金と同様にボルトM12を通す14mmの孔が空いています。角座金と同等の面積があります。

接 合 具		(単位：mm)
種類・記号	形状・寸法	主な用途
角座金 W6.0×60×φ14		めり込み耐力以下の引張りを受けるボルトM12用の座金
丸座金 RW6.0×68×φ14		

名称	記号	短期許容めり込み耐力 (単位：KN)		
		べいまつ、からまつ類	ひのき、べいつが類	すぎ、S-P-F類
角座金	W6.0×60×φ14	21.6	18.7	14.4
丸座金	RW6.0×68×φ14	21.7	18.8	14.5

注1：座金のめり込み耐力の算出根拠は、国土交通省告示第1024号第1の1のイの規程によるとともに、座面積の算出方法は、(財)日本住宅・木材技術センター発行「木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年版)」によります。

注2：これらのめり込み耐力を発揮するためには、アンカーボルトM12の定着長さは、31cm以上必要となります。

問い合わせ先：(財)日本住宅・木材技術センター認証部 吉野、山田  
電話：03(5653)7581